



平井西小だより

令和5年11月 2日
江戸川区立平井西小学校
校長 藤澤 優子
11月号 No.7

「祝 開校71周年」

～心と心の絆を深めながら～

校長 藤澤 優子

10月・11月と行事のラッシュとなりますが、そのたびに子供たちの歓声を聞くことができようになりました。また、行事ごとに成長を感じる月でもあります。

6年生は、前日に下級生からの盛大な応援を受け、区の体育大会に臨みました。朝練習は2週間ほどの短い間でしたが、一人ひとり記録を伸ばすことができました。また各種目に入賞しました。素晴らしい活躍でした。



10月19日、20日には、なかよし班集会、ふれあい給食が行われました。いつもは学級で並ぶのですが、この日は、なかよし班で並ぶので、いつもより時間がかかりました。なかよし班は、全校を12の班に分けます。一つの班は、全ての学年で構成されています。活動内容については、コロナ前は主に、6年生が毎回事前に活動計画を立て、班のメンバーの下級生たちが喜んでくれるような遊びを考え、準備をしていました。コロナ後、なかよし班でのふれあい給食は、初めての実施となります。当日は晴れましたが、あいにく風が強く、教室で班ごとに食べました。その後外に出て、集会委員会が中心となり、なかよし班で遊びました。異学年のメンバーが楽しく遊んでいる様子を見ると、こちらにも自然に笑顔がこぼれます。日常の学校生活では、同じクラスや学年の友達と学校生活を過ごすことが多いのですが、子供たちの様子もクラスの中とは少し違う姿が見られます。あたたかい眼差しで優しい言葉をかけ、1年生と関わる高学年の姿をみることができます。なかよし班に限らず、人との「かかわり」には、「自分の気持ちを相手に伝えること」「人も自分も大切にするにはどうしたらよいのか考え行動する」などどれも大切な学びとなります。久しぶりのなかよし班での活動を見ていると、コロナ禍、なかよし班活動は実施できませんでしたが、日ごろから、知らず知らずに他の学年とのふれあいは、平井西小の伝統として受け継がれているのだと感じました。

最後になりましたが、11月1日開校記念日を迎えました。開校71周年の年に、東京都教育委員会より平井西小学校学校応援団に感謝状が贈呈されました。長くの間子供たちの登下校の見守り、本の読み聞かせといつも学校教育を多くの方が支援をしてくださっています。ありがとうございます。地域とつながり、歴史をつなぎ、未来へ向けて虹の架け橋をかけることができるよう、教職員一同頑張っています。今後ともより一層のご協力・ご支援をくださいますようお願い申し上げます。